

令和3年2月17日

関西学生アーチェリー連盟
委員長 藤野 廣実
競技委員長 畑瀬 隆嗣

リーグ戦オンライン開催マニュアル

【概要】

- ・今リーグ戦は、対戦校を zoom でつないだ上で、各校自レンジで競技を行う。
- ・4分6射。同時射ち。
- ・1戦目 午前男子、午後女子
2戦目 午前女子、午後男子
3戦目 午前男子、午後女子
4戦目 午前女子、午後男子
5戦目 午前男子、午後女子
- ・入れ替え戦は該当校（最大4校）を同時につなぐ
- ・優勝決定戦は70mで行う。

【事前準備】

- ・学連から各校にレンタル wifi ルーターを配布いたします。
- ・各校選手はスマートフォンへの zoom のインストールをお願いします。
- ・リーグ戦用の的・スコアカードは、学連より各校に配送いたします。
- ・各自スマートフォンの充電を十分に行う。
- ・充電に心配がある選手はモバイルバッテリーなどの準備を行う。

【試合前日の準備】

- ・各校学連員によって zoom のミーティングルームを作成する。
- ・各校学連員はホストとなり試合の選手及び DOS・審判を招待する。
- ・DOS・審判は各校の競技運営が担当する（男子の試合では女子、女子の試合では男子）。

【試合開始前】

- ・開会式は、オンラインで行います。
- ・メンバー表は、カメラを通じて審判がメンバー表に記入する。
- ・用具検査と服装チェックは、自校の審判のカメラを通じて相手校審判が行う。（詳細な方

法は DOS 講習会で説明します。)

- ・各校代表 (学連員) のスマートフォンを SL 後方から全体 (選手全員) が映るように設置し撮影する。

【試合中】

行射中

- ・行射中の選手はカメラオフとミュートとスピーカーオフにしておく。
- ・審判は常にカメラオンとミュート解除しておく。
- ・審判は行射中右後方 3 m からスマートフォンを保持する。30 秒前になった時に選手が SL で行射している場合は右後方 1 m までに近づく。
- ・対戦校が行射中は審判が相手校の映像を確認する。

採点方法

- ・採点時に、ホストとなっている学連員がブレイクアウトルームに各的の選手を分割する。
- ・1 的から順に、各選手は自らの端末で的を写し点数を報告し、自らのスコアカードに記載する。
- ・矢取り前に同的選手のスコアカードの記載を確認する。
- ・点数のジャッジが必要な場合は、両校の DOS・審判で判断する。ジャッジする有的のある大学の審判はスマートフォンのカメラで対象となる矢を映す。その映像を元に両校の DOS・審判が判断を行う。
- ・全員が採点、確認ができたあとに学連員がホストのルームに戻す。

【試合後】

- ・試合終了後、相手選手の確認のもと自校の審判が採点者サインを行う。
- ・閉会式も、オンラインで行う。
- ・試合結果は速やかに学連ホームページに掲載する。

・天候について

雨がどちらか一方に降った場合、その時点でその試合は中止とし、予備日に延期。(コロナのため少しの雨でも風邪を引くことも危険になるので)

天候は Zoom で DOS が判断する

2 試合以上中止になった場合は、試合は延期しない。

今年度は特例として、5 試合が行えなかった場合はアベレージで勝敗を決定する。

Zoomミーティングルーム

- ・両校学連員(ホスト)
- ・両校選手(控え選手含む)
- ・DOS、審判(各1名)

採点時 ↓ ↑ 採点終了

ミーティングルーム

両校学連員(ホスト)、両校控え選手、DOS、審判

ブレイクアウトルーム

1的	2的	...	8的
両校1的選手	両校2的選手		両校8的選手